F SPORT PARTS

MS313−11001／2／3
リヤディフューザー

取付取扱要領書

この度はF SPORT PARTSリヤディフューザーをお買い上げ頂きありがとうございます。
本書には、上記商品の取付・取扱要領について記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★本商品は登録後架装を前提としています。

■ 品番・適合

品番	塗装色	適合車種	型式	年式	備考
MS313-11001-A1	ﾎﾜｲﾄﾉｰｳﾞｧｶﾞﾗｽﾌﾚｰｸ（083）	LC500 LC500h	URZ100 GWZ100	'17.03 ～	
MS313-11001-C0	ﾌﾞﾗｯｸ(212)				
MS313-11001-C2	ｸﾞﾗﾌｧｲﾄﾌﾞﾗｯｸｶﾞﾗｽﾌﾚｰｸ（223）				
MS313-11002-NP	未塗装品（ﾌﾟﾗｲﾏｰ処理品）				
MS313-11003	共通品(212)				

＊ディーラーオプションを含み、他社製品との同時装着は出来ません。

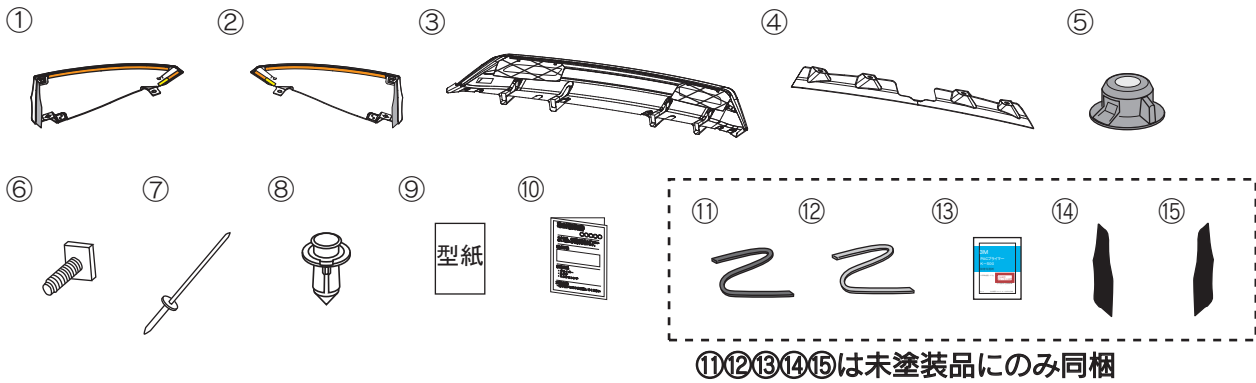
※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品

	部品名	品番	数量	備考
①	リヤスパッツ　RH		1	
②	リヤスパッツ　LH		1	
③	リヤディフューザー		1	
④	アンダーカバー		1	
⑤	クリップナット		2	M6用
⑥	スクエアヘッドボルト		2	6×15
⑦	三つ割れリベット		5	黒色（予備1個を含む）
⑧	クリップ		4	
⑨	型紙		1	A4シール
⑩	取付取扱要領書		1	本書は大切に保管してください。

以下、MS313-11002-NP(未塗装品セット)のみに同梱

	部品名	品番	数量	備考
⑪	モール		1	黒　L=950mm(①②で半分ずつ使用)
⑫	モール		1	グレー　L=950mm(①②で半分ずつ使用)
⑬	PACプライマー		1	K−500
⑭	プレート　RH		1	
⑮	プレート　LH		1	



⑪⑫⑬⑭⑮は未塗装品にのみ同梱

取付け上のご注意（取付け作業者の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。

⚠警告	この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。
⚠注意	注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。
アドバイス	スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⃠ やってはいけないこと　　❗ 必ず行なっていただくこと

⚠警告

⃠ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。

❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。

❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。

⚠注意

❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。

❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

❗ 脱脂作業を行う際は､清潔なウエスを使用して､イソプロピルアルコール(IPA)を使用して確実な脱脂を行ってください。

❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。

❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。

❗ 本商品の両面テープは、環境温度が２０℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足らないと両面テープが剥がれます。

❗ 両面テープの圧着は４９Ｎ（５ｋｇｆ）以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足らないと両面テープが剥がれます。

⃠ 本商品の取付け後２４時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。

❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。

❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので７０℃以下で乾燥させてください。

取付けが終わったら

❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。

❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

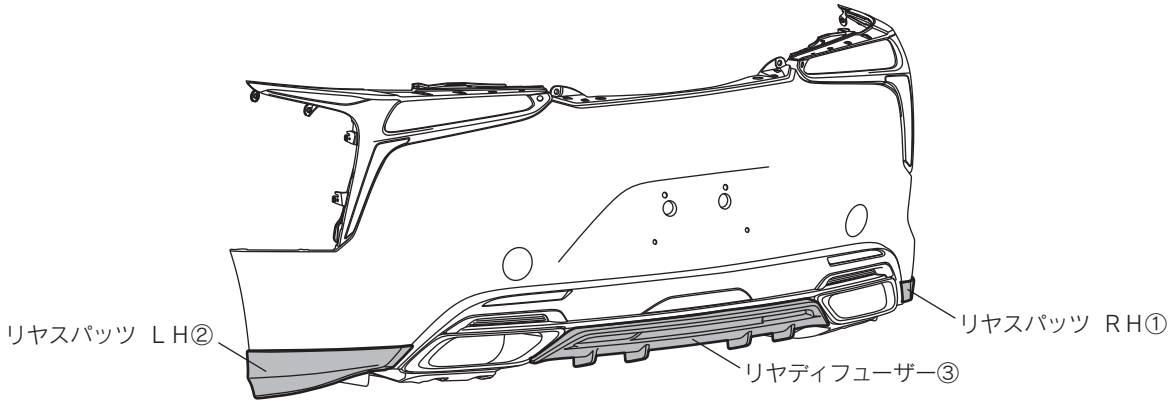
■ 目次

1．表紙、適合表、構成部品表、構成部品図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
2．取付け上のご注意（取付け作業者の方へ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
3．目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図・・・・・・・・・・・・3
4．取付け要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3～8
5．取付け後の確認・点検・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

・加工用工具（ハサミ、カッター、ドリル、キリ、ホルソー等）・ヤスリ・リベッター
・保護メガネ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・ガムテープ
・イソプロピルアルコール（ＩＰＡ）・清潔なウエス

■ 取付構成図

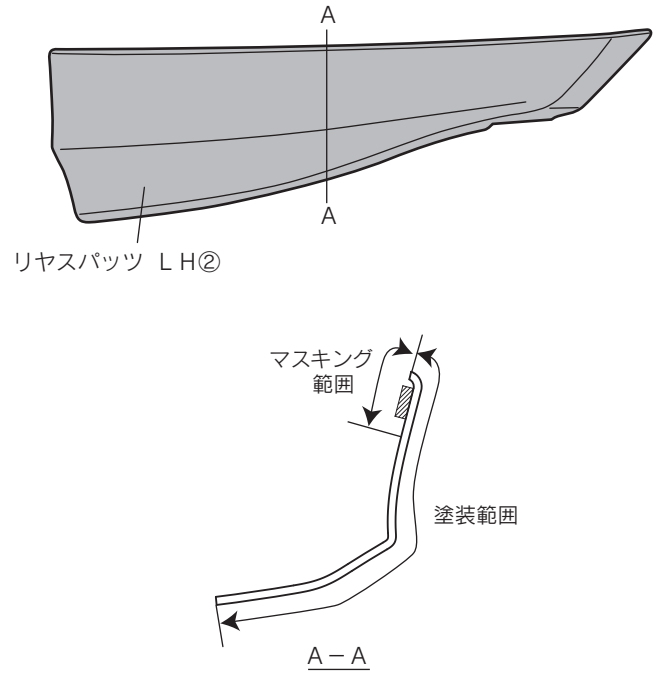


■未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品(MS313-11002-NP)の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。

※本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

図1



□リヤスパッツの塗装

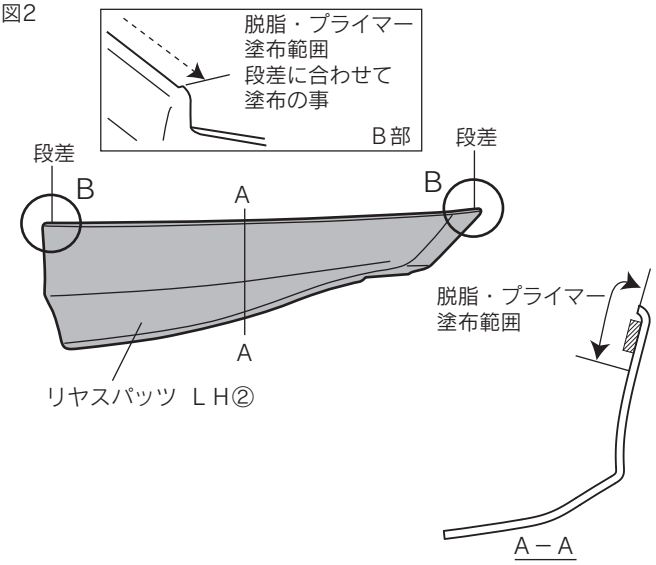
1.図１のようにリヤスパッツ ＬＨ②をボディー色で塗装する。

⚠注意：脱脂をする場合は、イソプロピルアルコール（以下、IPAという）又を使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

⚠注意：モール貼付面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

⚠注意：乾燥温度を７０℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので、乾燥温度には充分注意してください。強制乾燥させる場合は、製品が変形しないように固定してください。

図2



□モールの貼付け

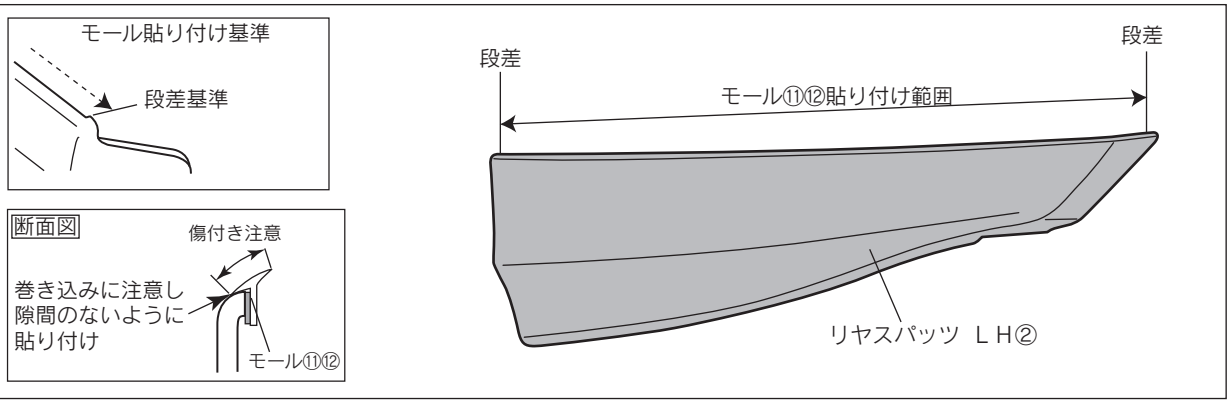
1.図2のようにモール貼り付け部の汚れを取り除き、IPAで一方向にふいて脱脂し、PACプライマーK−500⑬を塗布する。

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

⚠注意：ＰＡＣプライマーＫ−５００⑬は再度使いますので、二つ折りにし揮発しないようにしてください。

アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、１０分以上乾燥させてください。

図3



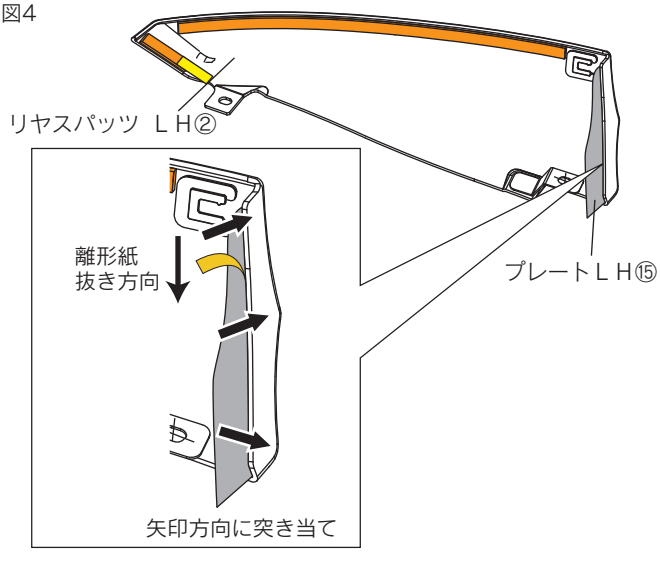
2.図３のようにリヤスパッツ②に、モール⑪⑫の両面テープの離型紙を剥がしながら貼り付け、圧着する。**{４９Ｎ（５ｋｇｆ）以上}**

モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

アドバイス：モール⑪⑫は、二色同梱されています。塗装色に合わせて、モール色を選択し貼り付けてください。

⚠注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約４０℃程度に暖めてください。

図4



□プレートの貼付け

1.図4のようにモール貼り付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂し、PACプライマーK−500⑬を塗布する。突き当て基準でプレート LH⑮を貼付ける。

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、１０分以上乾燥させてください。

■ モール設定　推奨カラー表

カラーNo.	カラー名	推奨モール色
083	ホワイトノーヴァガラスフレーク	グレー
1G0	ダークグレーマイカ	ブラック
1J2	ソニックシルバー	グレー
1J7	ソニックチタニウム	グレー
1L1	ソニッククロム	ブラック
1L2	ソニックイリジウム	グレー
223	グラファイトブラックガラスフレーク	ブラック
3S0	ガーネットレッドマイカ	ブラック
3T5	ラディアントレッドコントラストレイヤリング	ブラック
4X2	アンバークリスタルシャイン	ブラック
4Y5	ソニックカッパー	ブラック
5C1	ネープルスイエロー	グレー
6X4	テレーンカーキマイカメタリック	ブラック
8X1	ヒートブルーコントラストレイヤリング	ブラック
8X5	ディープブルーマイカ	ブラック

図5

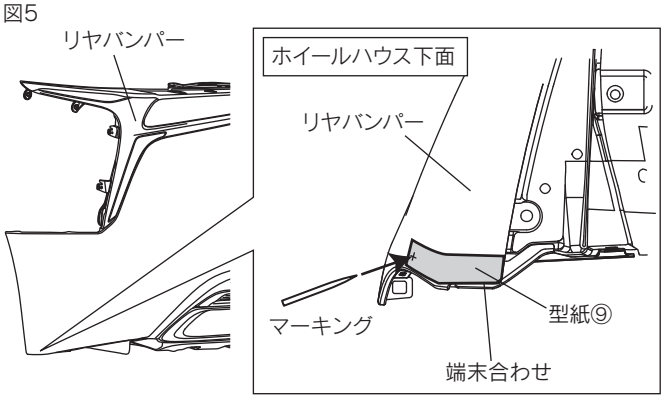


図6

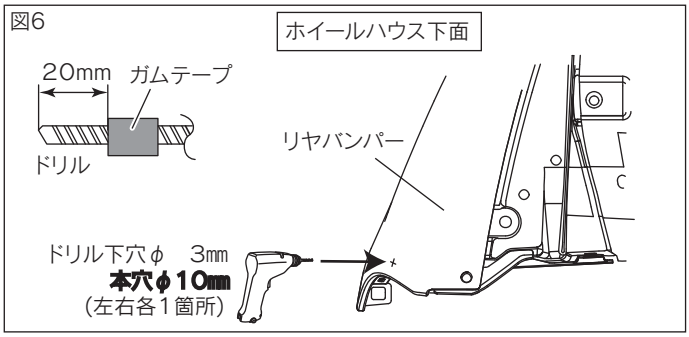
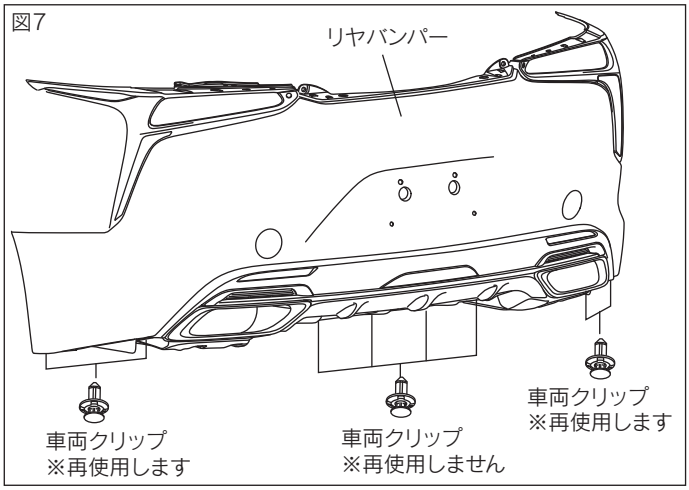


図7



□リヤスパッツの取付準備

1.図5のように型紙⑨をホイールハウス部に貼付け、指示部をマーキングする。

(左右各1箇所)

⚠注意:型紙の端末がずれている場合は、貼付け位置がずれていますので貼り直してください。

アドバイス:穴あけ位置のマーキング後、リヤスパッツを仮合せして確認して頂くと、より正確な穴位置を出す事が出来ます。

2.図6のように型紙をすべて剥がし、使用するドリルの先端にストッパーとなるよう20mmの位置にガムテープを巻付け、φ3mm、φ10mmの順にドリルを使用してリヤホイールハウスのマーキング位置に穴をあけ、穴のバリを取除く。

(左右各1箇所)

アドバイス:穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

⚠注意:作業時は保護メガネを着用してください。

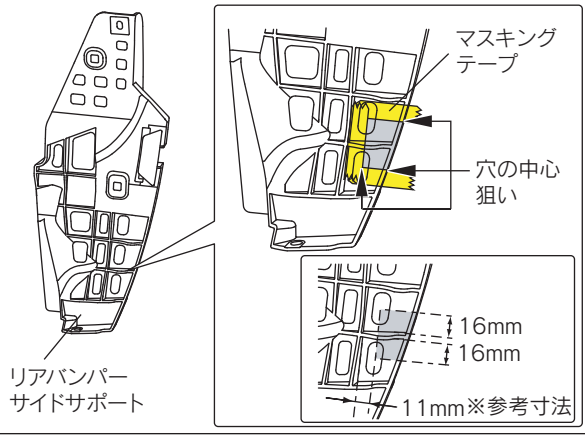
⚠注意:バリを取除く時には、穴径が大きくならないように注意してヤスリ等で取除いてください。

3.図7のように車両修理書に従い、車両バンパーを取り外す。

⚠注意:取外した車両部品は、再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。

⚠注意:センター部の車両クリップは、再使用しません。

図8

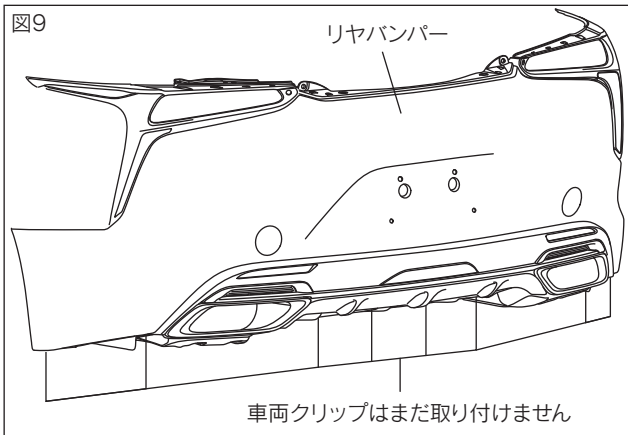


4.ホイルハウス部のフェンダーライナーをめくり、図8のようにリアバンパーサイドサポートにマーキングをする。（左右各1箇所）

5.図8のようにマスキングテープの内側の線に合わせて、エアソー等でカットして、バリを取り除きマスキングテープをはがす。（左右各1箇所）

⚠注意：作業時は保護メガネを着用してください。

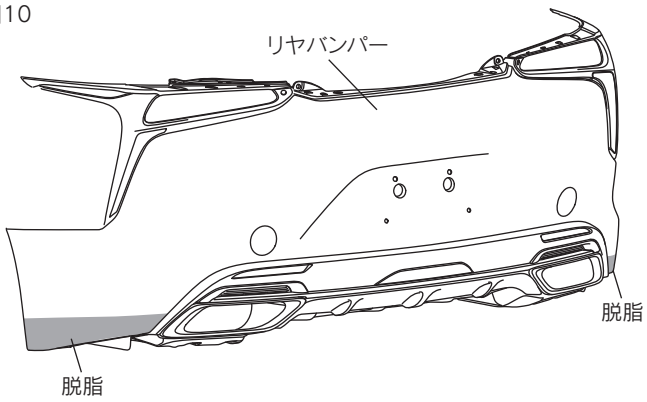
図9



6.図9のように車両修理書に従い、車両バンパーを取りつける。

⚠注意：下面の車両クリップは、まだ取り付けません。

図10

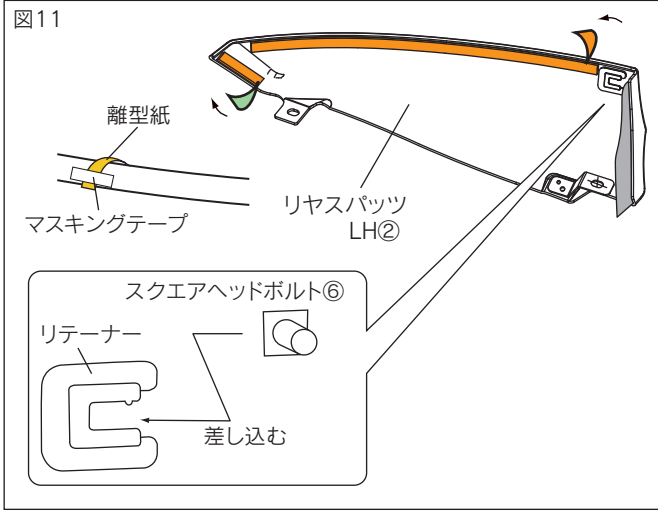


7.図10のようにリヤバンパーのリヤスパッツ②取り付け部の汚れを取り除き、IPAで一方向に拭いて脱脂する。

⚠警告：ボディーコーティングが施されている場合は、塗装にキズをつけないよう、コンパウンド等で除去した上で、必ず脱脂を行なってください。

⚠注意：脱脂を行う際はIPAを使用し、パーツクリーナーは使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

図11



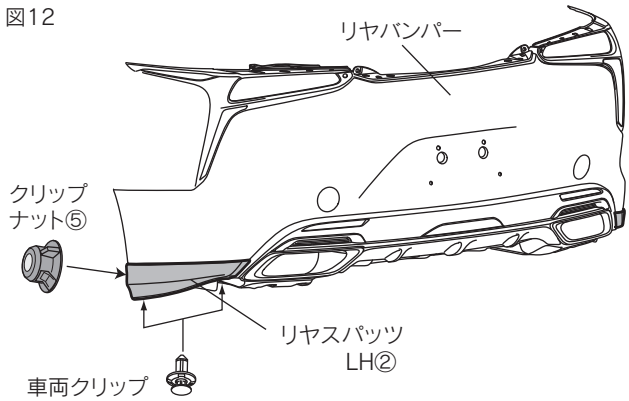
8.図11のようにリヤスパッツ LH②の両面テープの離型紙を、矢印の向きに約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。（左右各2箇所）

⚠注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取り付け位置に取り付けが出来なくなります。

⚠注意：離形紙のピックアップテープ(青色)は強く引張ると剥がれる恐れがある為、作業前に必ず離形紙と一緒に少し(10mm)剥がしてから作業を行ってください。

9.図11の拡大図ようにリヤスパッツ②に付いているリテーナーに、スクエアヘッドボルト⑥を差し込む。（左右各1箇所）

図12

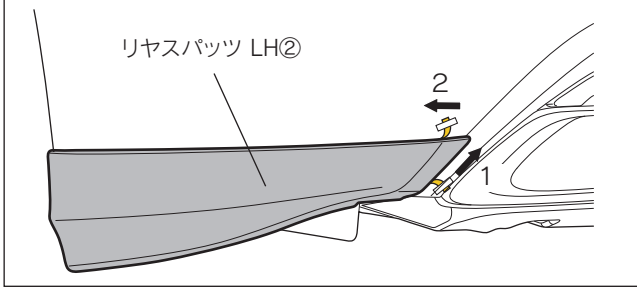


10.図12のようにリヤスパッツ LH②をリヤバンパーにかぶせ、下面を車両クリップで固定する。
（左右各2箇所）

11.図12のようにスクエアヘッドボルト⑥にクリップナット⑤を仮締めする。
（左右各1箇所）

12.図13のようにリヤバンパーとリヤスパッツLH②に隙間が開かないように押し付け、リヤスパッツ LH②の両面テープの離型紙を番号順に剥がしながら貼り付け、圧着する。
（左右各1箇所）
{49N（5kgf）以上}

図13

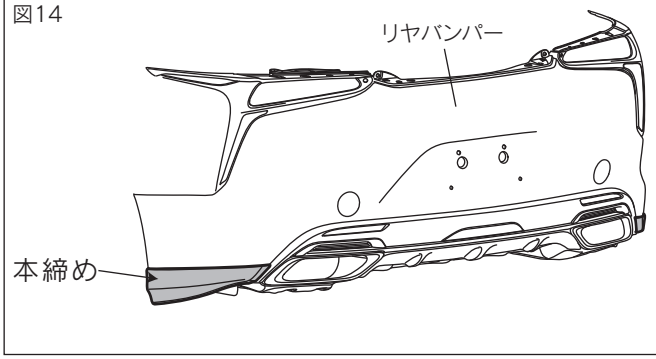


⚠注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

⚠注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

⚠注意：両面テープは圧着ムラのない様に十分に圧着して下さい。
圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

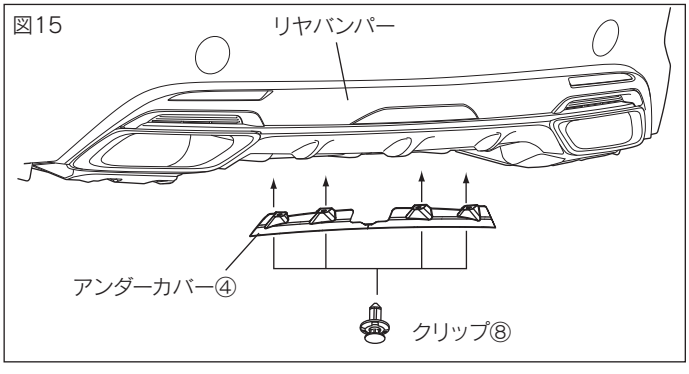
図14



13.図14のように仮締めしておいたクリップナット⑤を本締めしする。
（左右各1箇所）

14.めくっていたフェンダーライナーをもとに戻す。
（左右各1箇所）

図15

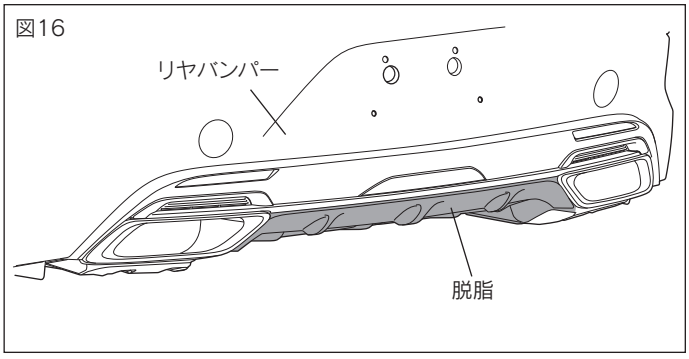


□リヤディフューザーの取付準備

1.図15のようにアンダーカバー④をリヤバンパーにクリップ⑧で取り付ける。
（左右各2箇所）

2.図16のように車両ディフューザーのリヤディフューザー③取り付け部の汚れを取り除き、IPAで一方向に拭いて脱脂する。

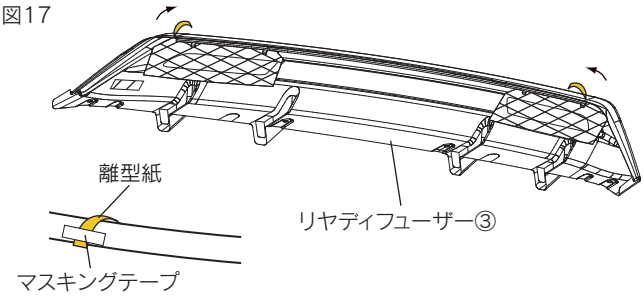
図16



⚠警告：ボディーコーティングが施されている場合は、塗装にキズをつけないよう、コンパウンド等で除去した上で、必ず脱脂を行なってください。

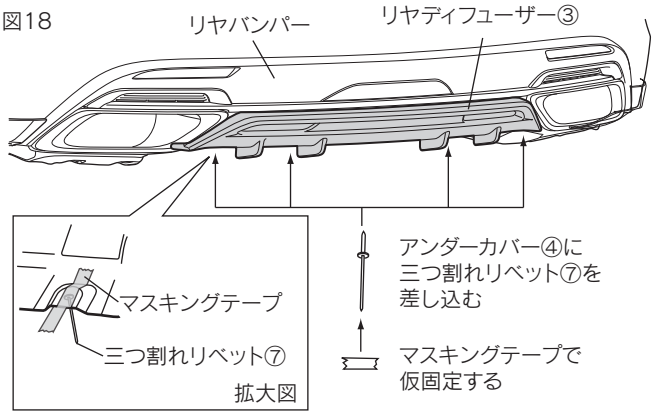
⚠注意：脱脂を行う際はIPAを使用し、パーツクリーナーは使用しないでください。
油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

図17



3.図17のようにリヤディフューザー③の両面テープの離型紙を矢印の向きに折り曲げ、マスキングテープ等で表側に貼り付ける。
（左右各1箇所）

図18

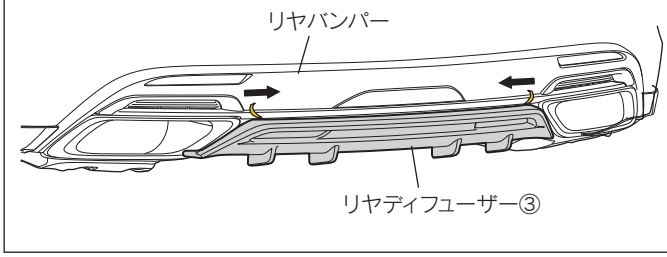


□リヤディフューザーの取付

1.図18のようにリヤディフューザー③をリヤバンパーにかぶせ、下面のアンダーカバー④に三つ割れリベット⑦で仮固定する。
（左右各2箇所）

⚠注意：この作業時は、三つ割れリベット⑦は打ち込まないでください。

図19

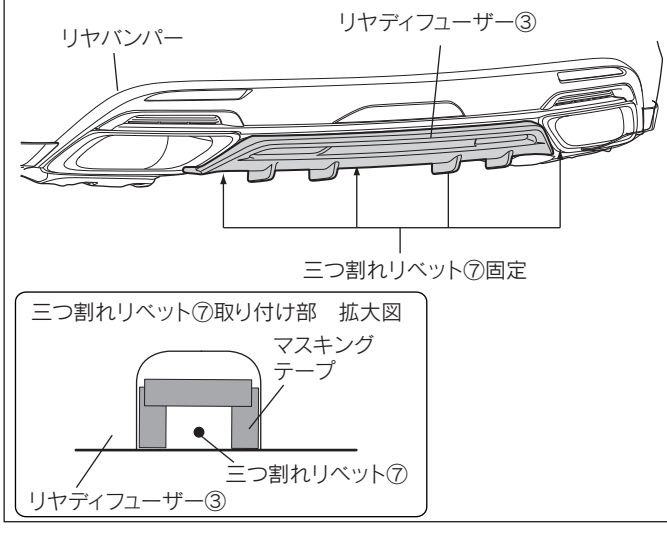


2.図19のように車両ディフューザーとリヤディフューザー③に隙間が開かないように押し付け、リヤディフューザー③の両面テープの離型紙を剥がしながら貼り付け、圧着する。
（左右各1箇所）
{49N（5kgf）以上}

⚠注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

⚠注意：両面テープは圧着ムラのない様に十分に圧着して下さい。
圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

図20



3.図20のように、作業1で貼付けたマスキングテープを剥がし、三つ割れリベット⑦取り付け部周辺のリヤディフューザー③をマスキングテープ等でマスキングする。
（左右各2箇所）

4.三つ割れリベット⑦でリヤディフューザー③とアンダーカバー④を固定します。作業3で貼付けたマスキングテープを剥がす。
（左右各2箇所）

⚠注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

アドバイス：両面テープの接着力は安定するまでに3〜5時間程度必要です。製品の取付後は最短3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、かからないようにオープンタイム（静止時間）をお取ください。

■取付完了後の点検・注意事項

1.リヤディフューザーがクリップ・クリップナットにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
2.リヤディフューザー及び車両部品に傷を付けていないか点検する。
3.製品の全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。

株式会社トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
ＴＲＤ商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-2121
https://www.trdparts.jp/

TOYOTA CUSTOMIZING & DEVELOPMENT

脱脂作業要領書

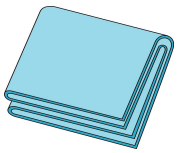
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　（約 3 分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約 6 分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約 4 分）
合計　約 13 分

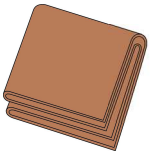
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等


水拭き用バケツ


合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス


イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

1．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

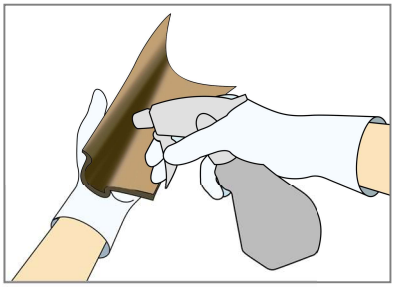

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

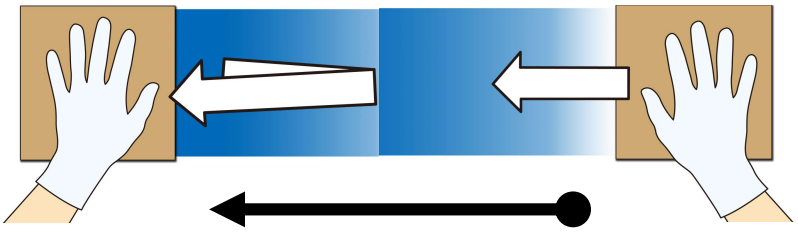


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

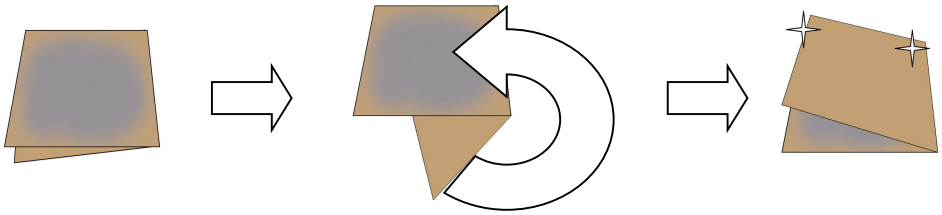
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。